

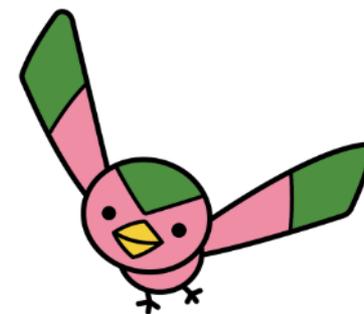


大阪府立大学ボランティア・市民活動センター

V-station



2020年度活動報告



2020年度の振り返り

4月

5月末

9月末

12月

3月

緊急事態宣言

赤信号

1期

2期

3期

4期

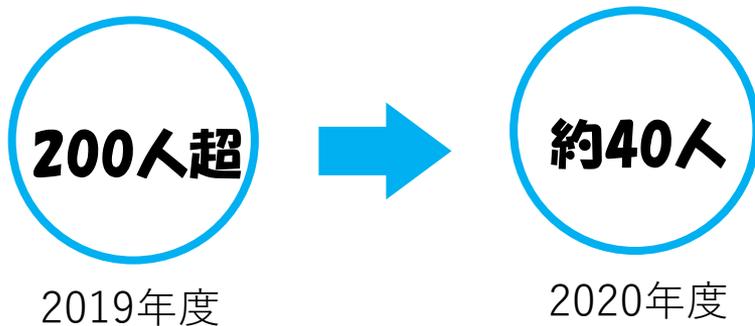
- 1期：年度始め～緊急事態宣言解除まで
全活動制限 ▶ オンラインに慣れる時間
- 2期：緊急事態宣言明け～9月末まで
対面活動制限 ▶ オンラインでの実施に注力
- 3期：後期開始～12月ごろまで
対面活動緩和（学外再開） ▶ 限定的にも対面活動再開
- 4期：12月ごろ～（赤信号点灯下）
対面授業制限 ▶ 登校減少に伴いオンライン主軸へ
▶ 一方、対面活動も一部継続

・ 活動数の激減と回復（実働数）



原因 | ボランティア依頼の減少や定例の活動の休止などによる

・ V-mate登録者数の変化



・ 活動の方向性



活動状況報告(対面)



4月

5月末

9月末

12月

今

今後

緊急事態宣言

赤信号

1期

2期

3期

4期

しらさぎおうちごはん お弁当提供

RFL
大阪
あさひ

大阪
難病連
学習会

防災授業
@五箇荘東小

VOLUNTEER
WEEK 2020

ダブル
スマイル
サンタ

千早赤阪村
棚田保全

V仮面の
ボランティア先生
出前授業@旭陽中

健康
フェスタ

笑働の森づくり

活動状況報告(オンライン等)



4月 5月末 9月末 12月 今 今後

緊急事態宣言

赤信号

1期

2期

3期

4期

オリジナル読書
ノート無償贈呈

第1回
オンラインカフェ

第2回
オンラインカフェ

ふらっとカフェ
In Tamariba

花まつり

V仮面の
ボランティア
先生出前授業
@淀川清流高校

キャンパ
スツアー

とっておきの音楽
祭オンライン楽団

サイバー防犯
オンラインワー
クショップ

一般教養科目
「地域文化学」

3.11さかい
灯りの花広場

令和2年7月豪雨募金活動&商店街応援企画

創ラボ

感染症解説動画シリーズ

ボラがく

対面での活動

オンライン等を活用した活動

(1)自主企画

- ①しらすぎおうちごはん お弁当提供
- ②オリジナル読書ノート 無償贈呈
- ③感染症解説動画シリーズ
- ④学生によるオンラインカフェ
- ⑤学生によるキャンパスツアー

(2)協働企画

- ⑥ダブルスマイルサンタ
- ⑦健康フェスタ
- ⑧令和2年7月豪雨 募金&商店街応援
- ⑨とっておきの音楽祭オンライン楽団
- ⑩3.11さかい灯りの花広場

(3)ボランティア参加

- ⑪千早赤阪村 棚田保全活動
- ⑫笑働の森づくり
- ⑬リレー・フォー・ライフ 大阪あさひ
- ⑭大阪難病連 ボランティア学習会
- ⑮防災授業@五箇荘東小学校
- ⑯ボランティア先生@旭陽中学校
- ⑰ボランティア先生@淀川清流高校
- ⑱サイバー防犯教室
- ⑲ふらっとカフェ in Tamariba
- ⑳府大花まつり

(4)説明会等

- ㉑VOLUNTEER WEEK
- ㉒ボラがく
- ㉓地域文化学
- ㉔創ラボ

(1) 自主企画

- ① しらさぎおうちごはん お弁当提供
- ② オリジナル読書ノート 無償贈呈
- ③ 感染症解説動画シリーズ
- ④ 学生によるオンラインカフェ
- ⑤ 学生によるキャンパスツアー

②「オリジナル読書ノート」無償贈呈



「子どもたちに楽しく本を読んでもらおう」という狙いから、**広報課と学生が協働**してオリジナルの読書感想ノートを製作。

感染防止施策により、子どもが自宅等で過ごす時間が長くなる中、**本を読んで過ごす時間がすこしでも楽しくなるよう**、このノートを希望者へ**無償で寄贈**しました。



point!



- ・コロナ禍だからこそその企画
- ・非接触で実施（寄贈は郵送にて）



事業成果

- ◆個別申込： 112冊(61件)
- ◆放課後児童： 700冊
- ◆こども会： 3,200冊

※堺市こども会育成協議会より感謝状を授与



③感染症解説動画 シリーズ

#V仮面の感染症解説video



新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、日々たくさんの感染症関係の情報が流れていると思います。

専門用語が多く並んでいて、「え？よくわからない…」ということもよくありませんか？

そこで、私たちV-stationが感染症に備えるために知っておくべきそのような用語や基礎知識を、「わかりやすく」「簡単に」説明する解説動画を作りました！

様々な感染症に関する情報が行き交う中で、感染対策の基本知識を**できる限り簡単に直感的に解説する動画**を定期的に発信しました。

専門的知識を持つ学内の教員と連携し正確な情報をわかりやすく発信しています。



point!



- ・コロナ禍だからこそこの企画
- ・非接触で実施（動画を放映）



事業成果

- ◆7月以降に計9本作成
- ◆ポータルを通じて全学生・教職員に向けて発信
- ◆ボランティア(作成者)4名



④新入生向け「学生によるオンラインカフェ」



登校自粛が続く中で**新入生の不安を解消したいという上回生の思い**からスタートしました。

学域ごとに日時を設定するなど、**新入生同士の関係作り**も意識して企画し、不安解消に向けて**気軽に相談できる環境づくり**を行いました。



point!



- ・コロナ禍だからこそこの企画
- ・オンラインで実施



事業成果

- ▶ 7月に4回開催
- ▶ 11月新入生歓迎イベントにて2日間開催
- ◆ 参加者は延べ23名
- ◆ ボランティア10名



⑤新入生向け「学生によるキャンパスツアー」



11月に行われた「新入生歓迎イベント」において実施。
オンラインでは**3キャンパスそれぞれ**を学生が紹介する「オンラインキャンパスツアー」を撮影・公開しました。
対面では**中百舌鳥キャンパスの主要箇所を巡る**「V仮面のキャンパスツアー」を実施。ツアーで巡る場所は**主に大学生活でよく使う施設をセレクト**しました。



point!

- ・コロナ禍だからこそその企画
- ・オンライン及び対面の併用で実施



事業成果

- ◆11月新入生歓迎イベントにて2日間開催
- ◆新入生数組が参加
- ◆ボランティア20名

(1) 自主企画のまとめ

コロナ禍の中で**顕在化したニーズ**に対し、その時学生ができることに取り組んでいった。その中には現在も引き続き取り組んでいるものもある。

今後も顕在化するニーズを「見つけ」出し**学生ならではのアプローチを続けていきたい**。しかし、「オンライン疲れ」も言われる中で、オンライン企画の効果については不安も感じているところ。

今後の課題

オンライン形式の活動への付加価値のつけ方に関して
どのように魅力を生み出していくのか

(2)協働企画

⑥ダブルスマイルサンタ

⑦健康フェスタ

⑧令和2年7月豪雨 募金 & 商店街応援

⑨とっておきの音楽祭オンライン楽団

⑩3.11さかい灯りの花広場



⑥ダブルスマイルサンタ



2009年から**友好祭実行委員会と協働**して実施している「なかよしクリスマス会」は大学に地域の子どもたちを招いて遊ぶイベントです。今年度は密を避けるため集会型のイベントを見送り、NPO団体からノウハウを授かり、**大学生側から子どもたちにプレゼントを届けに行く活動**を行いました。その際に寄付金もいただき、チャリティーとして飢餓に対する**国際支援にもつなげました。**



point!



- 従来は対面で行っていたものを手法を変えて対面で実施

【連携先：World Seed】



事業成果

- ◆12月24日実施
- ◆1家庭へ訪問
- ◆ボランティア2名



⑦健康フェスタ～ひともまちも健康に～



泉北ニュータウンの**健幸年齢**（※）を**長ずる**こと
および泉北ニュータウンでの**産学連携強化**を目的
として、いずみがおか広場（泉ヶ丘駅前）で健康
イベントを開催しました。



泉北ニュータウンに関わりのある各団体がブース
やステージを出展し、運動意欲を喚起して習慣づ
けることを支援し、**住民の健康意識**を高めます。

※**健幸年齢**：楽しみながら身体を動かし、社会とつながり、
住み慣れたまちと住まいで健康に幸せに暮らせる年齢のこと



point!



- コロナ禍だからこそこの企画
- 対面で実施

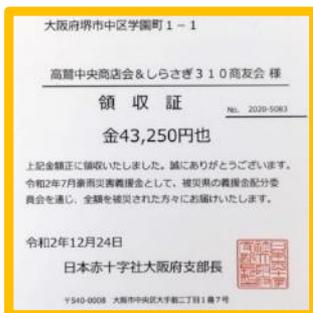
【連携先：UR都市機構、南海電鉄】



事業成果

- ◆3月20日実施
- ◆17事業者(大学・企業等)が出展
- ◆ボランティア10名

⑧ 令和2年7月豪雨募金活動 & 商店街応援企画



令和2年7月豪雨のコロナ禍における被災地支援として**地域商店に募金箱を設置**しての募金活動をおこなった。そしてコロナ禍で苦しむ大学近隣の商店街の方々を、**SNSを用いたPR活動**を通して応援した。

大阪府立大学V-station・しらさぎ310高友会・高鷲駅前中央商店会 合同企画

令和2年7月豪雨災害義援金募金活動

コロナ禍での商店街応援企画

「白鷺地区」
「高鷲地区」

大阪府立大学ボランティア・市民活動センター 企画 **V-station**

協力：堺市東区「白鷺地区」各商店
羽曳野市「高鷲地区」各商店

いつもV-stationが地域活動を通してお世話になっている大学近隣の商店会との合同企画であり、白鷺地区19店舗、高鷲地区19店舗に募金箱を設置して寄付を募りました。



point!

- 従来から実施しているものを、学生が直接的に活動せず地域の協力を得ることで実施

【連携先：しらさぎ310商友会、高鷲中央商店会】



事業成果

- 9～10月の1ヶ月間実施（一部店舗では12月まで）
- 寄付金額43,250円
- ボランティア6名



⑨とっておきの音楽祭オンライン楽団



障がいがある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」をめざして活動しています。例年は野外音楽祭を開催しましたが、今年はこれまでに出演していた団体の方々にご協力いただき、**オンラインにて皆で音楽を楽しむ機会をつくり、それを1つに重ね合わせて動画を完成させWEB上で配信しました。**関係者で顔を合わせるオンライン交流会も開催しました。



point!

- 従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：福祉施設等】



事業成果

- ◆福祉施設4団体
府大生サークル1団体
ミュージシャン1団体
のコラボレーションが実現



⑩3.11さかい灯りの花広場 (3月11日)



2012年から継続して、大阪府立大学の学生と地域の方々に東日本大震災の慰霊・追悼の場をつくり上げてきました。今年は集会を避けYoutube配信を行い、遠く離れた大阪から「東北への想い」を届けました。



福島県浪江町から避難して来られた方との対談映像、東北への想いを歌に込めたライブ映像、堺市立金岡南中学校で行われている震災復興イベントの中継、大学構内で行われたキャンドル点灯の様態などをライブ配信しました。



point!



- 従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：堺市で復興活動に取り組んでいる方々】



事業成果

- ◆3月11日：Youtube LIVE
- ◆参加者：再生回数264回
(3/15時点)
- ◆ボランティア2名

⑩ 3.11 さかい灯りの花広場 (3月6日)

今年は、**震災から10年**という数字の上では節目の年であることもあり、「**東北の生の声を届ける**」をコンセプトに交流イベントも別途開催しました。

3月6日は東北からのゲスト（復興支援活動等で出会った福島県、宮城県、岩手県の関係者）とオンラインで繋ぎ、直接お話を聞く機会を創出しました。

3月11日、6日ともに**オンラインツールを最大限活用し、「東北の今」「東北の魅力」を発信**できました。



point!

- 従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：東北3県の支援団体等】



事業成果

- ◆3月6日：Zoom開催
- ◆参加者：関西や中京圏の学生10名
- ◆ボランティア2名

(2) 協働企画のまとめ

コロナにより実施ができなかった活動のうち、
例年実施している活動の多くは「**協働企画**」にあたる

一方で、対面で実施したものを**オンラインに切り替え**、
時に協働先とアイデアを出し合い実践できたものもある

その中にはオンラインならではの**遠方との中継**であったり
不特定多数への発信を行なったりしたものもあった

今後も「**何のために取り組んでいるのか**」という活動原点を
忘れることなく、新しいツールなども積極的に活用し
様々な団体と協働しながら**活動を維持・発展**させていきたい

(3) ボランティア参加

- ⑪ 千早赤阪村 棚田保全活動
- ⑫ 笑働の森づくり
- ⑬ リレー・フォー・ライフ 大阪あさひ
- ⑭ 大阪難病連 ボランティア学習会
- ⑮ 防災授業@五箇荘東小学校
- ⑯ ボランティア先生@旭陽中学校

- ⑰ ボランティア先生@淀川清流高校
- ⑱ サイバー防犯教室
- ⑲ ふらっとカフェ in Tamariba
- ⑳ 府大花まつり



⑪千早赤阪村 棚田保全活動



1999年に「**日本棚田百選**」に選ばれた大阪府千早赤阪村にある「**下赤阪の棚田**」の保全活動。

2012年大阪府より府大VCに依頼があって以来**棚田保全活動に学生が関わり地元農家と関係を築いてきました。**

例年月1ペースで活動を展開してきたが、今年度は感染症拡大防止の観点から活動数は激減。しかし、少人数でも**地道に活動を継続し、地元農家との良好関係を維持**しています。



point!



- 従来から対面で行っていたものを感染対策を施したうえで実施

【連携先：下赤阪棚田の会】



事業成果

- ◆10月以降6回参加
- ◆ボランティア延べ20名

⑫笑働の森づくり



2012年から始まった「笑働の森づくり」の活動。大阪府和泉市にある槇尾山の森で展開されているこの活動では、**地域住民や行政、学生が協働して**森の課題を解決するために様々な取り組みを行ってきました。

活動開始から10年目を迎える今年は、府大高専と協力し、大学として**記念ビデオを作成**することとなりました。



point!



- 従来から対面で行っていたものを感染対策を施したうえで実施

【連携先：大阪府 鳳土木事務所】



事業成果

- ◆10月17日、12月19日参加
- ◆ボランティア延べ8名



⑬ リレー・フォー・ライフ 大阪あさひ



がん患者とその家族、医療従事者を応援し、**がん征圧を目指すチャリティーイベント**。同イベントは全国約50ヶ所で開催されており、大阪あさひには、初開催の2013年から毎年参加。

V-station独自の勉強会やふりかえり会をしっかりと設けることで、この**活動の意義を各自が考える機会の創出**を意識しました。



point!



- 従来は対面で行われていたものが対面・オンライン併用型で実施され各自で参加方法を選択

【連携先：同イベント実行委員会】



事業成果

- ◆11月22日参加
- ◆ボランティア7名



⑭大阪難病連 ボランティア学習会



2014年より毎年、難病患者の会である「大阪難病連」より依頼を受け、**学生がボランティア活動を通じて学んだことなどを伝える学習会**を開催しています。

近年は、同団体が友好祭にて難病啓発のための企画出展を行うなど、関係性が発展しています。



point!



- 従来から対面で行っていたものを感染対策を施したうえで実施
別日にオンラインでも実施

【連携先：大阪難病連】



事業成果

- ◆対面開催12月12日
オンライン開催12月19日
- ◆参加者 計18名
- ◆ボランティア(講師)1名

⑮防災授業@五箇荘東小学校 (堺市北区)



“堺版”コミュニティスクールの取り組みの一環として、地域コーディネーター（地域住民）・環境部エコロ助・V-stationが共同で、6年生全3クラスに対して防災講座を実施しました。

今回は西除川・大和川の氾濫を想定し、水害を取り扱いました。実際に防災マップを確認しながら逃げる場所を図示するなど、対面ならではの授業を行いました。



point!

- ・従来から対面で行っていたものを感染対策を施したうえで実施

【連携先：五箇荘東校区まちづくり協議会】



事業成果

- ◆12月24日実施
- ◆6年生全3クラスが対象（計120名超）
- ◆ボランティア（講師）3名



⑩V仮面のボランティア先生@旭陽中学校



「福祉授業」の1コマを担当。

※中学校から要請を受けた大阪ボランティア協会からの依頼

感染対策のもと**対面形式**で実施しました。

福祉の意味や福祉の考え方を、**ヘルプマークなど**
を使いながらわかりやすく伝えました。



point!



- ・従来から対面で行っていたものを感染対策を施したうえで実施

【連携先：大阪ボランティア協会】



事業成果

- ◆2月15日実施 ※2時間分×5クラス
- ◆1年生全5クラスが対象（計200名超）
- ◆ボランティア(講師)6名



⑰V仮面のボランティア先生@淀川清流高校



通年科目「ボランティア入門」の授業の一部を担当。※同校で教員を務める府大卒業生からの依頼
主なテーマは「災害と防災」
全てオンライン形式での実施しました。

オンラインで参加する学生と、教室にいる教員が連携してワークショップを実施し、それが校長先生にも評価され、当初予定になかった追加授業も実施することとなりました。



point!



- ・従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：大阪府立淀川清流高校】



事業成果

- ◆9月4, 8, 11, 15日実施※2時間分×2週分×2クラス
9月25日実施（追加授業）
- ◆3年生 計30名弱が対象
- ◆ボランティア(講師)8名



⑱サイバー防犯教室 オンラインワークショップ&出前授業



オンラインワークショップでは、**SNSにおけるサイバー犯罪の啓発**を行う出前授業にボランティア参加している多数の大学の学生が集まり、**議論・意見交換**を行いました。

出前授業は、**V-stationから中継するかたち**で大阪市立小学校に向けて実施。
V-stationとして、サイバー防犯の出前授業を**オンラインで実施するのは初**。



point!

- ・従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：大阪府警察サイバー犯罪対策課】



事業成果

- ◆ワークショップ2月16日
出前授業3月1日
- ◆5年生1クラスが対象（30名超）
- ◆ボランティア(講師)2名



①9 ふらっとカフェ in Tamariba



2015年より毎年、重症心身障がい者の支援活動をしている福祉団体からの依頼を受け開催している交流会。Tamaribaとは、**障がい者と健常者が自然な形で互いの存在を知り、認め合えるような交流の場**を目指している地域のフリースペースのこと。障がい者、介助者、学生、社会人の「出会い、交流」の場を設けました。



point!



- 従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：W・I・N・G－路をはこぶ】



事業成果

- ◆3月15日実施
- ◆参加者8名
- ◆ボランティア3名

②〇府大花まつり2021



今回は番組を放送するオンライン中心のイベント。V-stationは、「新1・2年生交流ひろば」が含まれる番組①と、V-stationをメインスタジオとて各キャンパス（高専含む）の桜を届ける番組②を主に担当。

府大の桜をお届けするとともに、Withコロナでの学生交流のきっかけづくりになればと考えています。



point!

- ・従来は対面で行っていたものをオンラインに切り替えて実施

【連携先：花まつり企画運営委員会】



事業成果

- ◆番組①4月3日配信予定
- ◆番組②3月28日配信予定
- ◆ボランティア11名予定

(3) ボランティア参加のまとめ

10月以降に入ってから従来より行われてきた他団体主催の取り組みにボランティア参加する機会が戻ってきた

それはV-stationとボランティア受け入れ団体が**数年に亘り関係性を構築してきた中で、コロナ禍でもお互いの状況を確認し合い、その中でどのように活動機会をつくっていくかの調整が実を結んだ結果だ**と考える

今後も受け入れ団体と活動機会の創出に向け協議を続けつつ、**今まで紡いできた関係性をさらに発展**させていける活動を展開していきたい

(4) 説明会等

②1 VOLUNTEER WEEK

②2 ボラがく

②3 地域文化学

②4 創ラボ

②1 VOLUNTEER WEEK 2020

府大を拠点に活動している多様な学生ボランティア団体（20団体）の魅力を新入生等に届ける機会として、センターを開放するイベントを11月に開催しました。各団体の活動状況・雰囲気伝える機会になりました。

特徴として、オンライン説明会による訴求効果の限界を感じていたことから、感染対策をとりながら**対面での実施にこだわりました。**

開催期間中から臨時休校となり、オンラインに切り替え開催を継続しました。

まだ間に合う！自分に合った活動を見つけよう！

VOLUNTEER WEEK 2020

1st Week				
9 Mon	10 Tue	11 Wed	12 Thu	13 Fri
16:30 知的障がいのある人の大学 By オープンカレッジ	16:30 大阪唯一の村で都市農村交流 By 千早の森村 福田保生	16:30 性の多様性が尊重される大学に By フォダイバーシティ	16:30 理学部棟の夜道沿線まちづくり By 森花まちづくり	16:30 おいしく楽しく国際貢献 By TABLE FOR TWO
18:00 国を巡った地域の居場所づくり By しらさきおうちごはん	18:00 ひとり親の夢実現サポーター By プロジェクトサークル	18:00 子どもがもっと好きになる By セツルメント	18:00 ステンドグラス展アートで駅彩る By 大阪府立大学 結丸	18:00 被災地の機織り地域防災に生かす By V-station実習チーム
2nd Week				
16 Mon	17 Tue	18 Wed	19 Thu	20 Fri
16:30 すべての子どもが勉強できる世界に By STUDY FOR TWO	16:30 キャンプのお兄さんお姉さん By はちがみねのつづろ	16:30 中高生が集える話せる学べる場所 By Little	16:30 最新 子ホト7普及でSDGs推進 By Peach	16:30 プログラミング学習を高校生に By CLACK
18:00 家で暮らす環境型社会を創る By UniCycle	18:00 “鳥”がそばにある日常をつくる By 笑美の森づくり	18:00 府大を花でいっぱい By はなまきプロジェクト	18:00 出初授業を通して小中高生と学ぶ By ボランティア先生	18:00 商家のチカラで心のバリアフリー By とっておきの音楽祭

2020/11/9-20
会場：B12棟2階 **V-station**

【同時開催】
「市民活動パネル展」
11/10(火)～19(木)
B12棟1階フロアー

期間中、毎日夕方からV-stationでは、学生ボランティア団体が入れ替わりながら活動PRを行います。
1回につき定員5名。当日参加もできますが、事前予約は特設サイト（QRコード）よりお申し込みください。
感染対策を施しながら実施しますのでご協力をお願いします。（問い合わせ：V-station 072-254-7484）

(参考) 学生ボランティア団体一覧

分野	チーム名	活動テーマ
<u>福祉</u>	堺市学習と居場所づくり支援事業Litto	生活困窮世帯中高生支援
<u>福祉</u>	KADOMA中学生勉強会	厳しい家庭環境の中学生支援
<u>福祉</u>	NPO法人 CLACK	困難を抱える高校生支援
<u>福祉</u>	プロジェクトすーみん	ひとり親家庭支援
<u>福祉</u>	オープンカレッジ運営委員会	知的障がいのある人の大学
<u>災害</u>	V-station災害チーム	災害復興支援・地域防災啓発
<u>国際</u>	V-station国際チーム	国際協力／きっかけづくり
<u>国際</u>	STUDY FOR TWO大阪府立大学支部	国際協力／教育支援
<u>国際</u>	TABLE FOR TWO大阪府立大学	国際協力／食の支援
<u>環境</u>	UniCycle	衣類リサイクル推進
<u>環境</u>	府大はなさかプロジェクト	園芸・緑化
<u>環境</u>	千早赤阪村 棚田保全	農業／地域おこし
<u>環境</u>	笑働の森づくり	森づくり／まちづくり
<u>まちづくり</u>	しらさぎおうちごはん実行委員会	食を通じた地域の居場所づくり
<u>まちづくり</u>	泉北まちづくり	産学連携の鉄道沿線まちづくり
<u>教育・文化</u>	フダイバーシティプロジェクト	性の多様性啓発
<u>教育・文化</u>	とっておきの音楽祭inさかい実行委員会	心のバリアフリー
<u>教育・文化</u>	ボランティア先生	ボランティア出前授業

② ボラがく

ボランティア活動の背景にある社会について学ぶ **ボラがく**

ボラがく vol.1

テーマ「ヘアドネーション」

※小児がんや先天的脱毛症、不慮の事故などで頭髪を失った子どものために、寄付された髪の毛でウィッグを作り無償で提供する活動。

ゲスト：渡辺貴一さん

NPO法人 Japan Hair Donation & Charity 代表理事

Japan Hair Donation & Charity (通称：JHD&C、ジャーダック)
ヘアドネーションによって作られたメディカル・ウィッグを、頭髪に悩みを抱える18歳以下の子どもたちに無償提供している **日本初のNPO法人**。



JHD&C
Japan Hair
Donation & Charity
Nonprofit Organization



日時：1月15日(金) 18:00～19:30

場所：オンライン (Zoom)

ボラがく



世の中にある社会課題・状況について知る・学ぶことを目的としています。ゲストと参加者と双方向に交流することにより「一人ではできない学びを得られる場」をつくります。

【参加申し込み方法】

件名に「ボラがく1」、
本文に「氏名」「所属」を記入して
下記メールアドレスまでご連絡ください。
受付後、ZoomのID・Passをお送りします。
参加定員は先着10名です。

volunteer@ao.osakafu-u.ac.jp

大阪府立大学ボランティア・市民活動センター

主催：V-station

ボランティア活動の背景にある社会課題・状況について学ぶ機会をオンラインでつくる企画。ゲストと参加者双方向の交流の時間を設けることで、**ひとりではできない学び**が得られます。

※1月から本格実施（1ヶ月に1回実施）

※1回90分のオンラインセミナー

※ボランティア受入先がゲスト出演

【実施テーマ】

1月：ヘアドネーション

2月：Rare Disease Day（難病関係）

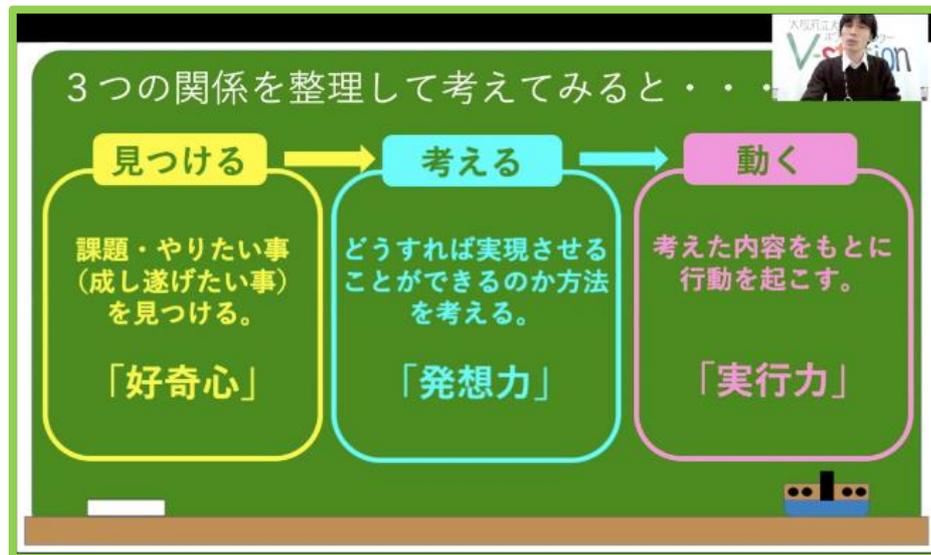
3月：フードロス

②3 一般教養科目 「地域文化学」

後期授業（オムニバス方式）のうち1コマをV-stationが担当。

テーマ： **見つける × 考える × 動く** ～ボランティアの創造性～

「活動を自由に“クリエイト”することができる」こともボランティア活動の醍醐味の一つだということを伝え、こういうコロナの時こそ、「**どうすれば実現できるのか**」「**何ができるのか**」を一緒に考えていきませんかというメッセージを伝えました。



録画配信授業として、270名の学生に届けることができました。

②4 創(つく)ラボ

従来であれば春休み中には数多くのボランティア活動が計画されますが、感染症が拡大状況にあり例年の取り組みの多くが中止・見合わせとなっていました。

しかし、「**こんな時だからこそ自分たちにできること**」を話し合い、**一緒に考える場を設けることで、創るボランティアに取り組み場づくり**を企画しました。

「コロナ禍の中、気づいたら1年が過ぎていた…」そんなモヤモヤを感じている学生のエネルギーをぶつける機会としても活用。

*** 春休み期間中に定期開催（およそ週1回ペース）**

*** オンライン開催で自宅(帰省先)から参加可能**

*** 参加者同士で興味関心を話し合い、
コロナ禍でも実施できる、
ボランティア要素を含む活動を一から考案。**



(4) 説明会系のまとめ

コロナ禍の中で各ボランティア団体が思うように活動できない中、V-stationとしては**どのように情報発信を継続していくか**が課題となっている。

その中で社会課題やそれに対する取り組みを知る機会として、**オンライン上での学びの機会**をつくったり、V-stationとしての**取り組みの姿勢**などを発信してきた。

「創ラボ」は社会課題を発見し、それに対しての取り組みを考え、実行していく過程を経て**課題に対してクリエイティブに解決**していく「**プレイヤー**」を学内で増やしていきたいという思いから始まっている。

(5) その他（実施協力等）

- ②⑤ 高鷺中央商店会 オリジナルソング
- ②⑥ ステンドグラス企画（白鷺駅）
- ②⑦ 福井県 谷集落 小冊子
- ②⑧ 3.11から10年企画
- ②⑨ 国際チーム 活動中
- ③⑩ 他大学とのオンライン交流
- ③⑪ 市民活動パネル展
- ③⑫ オンラインボランティアセンター構想

②⑤ 高鷲中央商店会 オリジナルソング



商店街の活性化を目的に、兼ねてより一緒に活動していた羽曳野市内の商店会。例年ボランティアとして参加していたイベントは中止が続き、これまで商店街に足を運んでいましたが、**商店会の方と学生がオンラインで情報を交換することで今できる活動を模索しました。**

- ①府大ピアノ部とのマッチングを行い、**商店街オリジナルソング**が完成！
- ②現在は、商店街の**マップ**を作成中。
- ③また、学生が**SNS**で**広報**を支援中。

②6 ステンドグラス企画（白鷺駅）

大阪市立大学の地域連携イベントサークル「結丸」が企画し、JR西日本および南海電鉄の協力を得て、

「みんなで作ったステンドグラス風アートで大学の最寄り駅をカラフルに！」

「合併前の大阪府立大学と大阪市立大学の学生同士で交流を！」

という思いから生まれた**アートプロジェクト**。

本学美術部および本学の学生ボランティアも制作に関わっており**市大生と府大生が連携して取り組んだ事例**となった。4月以降白鷺駅舎内にて展示を開始予定

※V-stationは作品制作会場の提供
および南海電鉄と結丸の仲介を担当

ステンドグラス企画 第2弾

市府大生必見!
合併予定の両大学生交流会開催!

毎日の通学・最寄り駅をもっと楽しく!

前回の当企画の様子

前回の完成作品@杉本町駅

「みんなで作ったステンドグラス風アートで大学の最寄り駅をカラフルに！」
そんな思いが生まれた企画です。

杉本町駅、白鷺駅に最寄り駅作りアート作品を展示してあげよう!

JRの方との作品掲出会

参加無料!

応募×切:2/25
※応募はこちらから

3/2・4・6
13:00---16:00

3/2・4・6 南海電鉄本学学生会館1階(有明館)V-station
※会場はアクセス案内図を参照してください。

3/2,4→各日先着15名様 3/6→先着20名様

JR西日本様、南海電鉄様のご協力を頂いております。



②7 福井県 谷集落 小冊子

勝山市北谷町谷の26のこと [AtoZ]

発行日	2021年3月
協力	谷の山を愛する会 大阪府立大学 学生ボランティア
写真提供	源野正弘 谷の山を愛する会
制作・発行	福井県里山里海湖研究所 〒919-1331 福井県三方郡若狭町鳥浜 122-12-1 tel 0770-45-3580 https://satoyama.pref.fukui.lg.jp/



毎年、谷のお面さん祭りに参加する大阪府立大学の学生たちが設営のボランティアに訪れます。谷の人の温かいもてなしや、おいしい郷土料理、雪国の暮らしに魅了されて、卒業してからも通う学生もいます。

ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア



volunteer

定期訪問している福井県勝山市の谷集落について、

「お面さん祭り雪像造り事業」にボランティアで参加した大阪府立大学の学生と、

谷の山を愛する会のメンバーがワークショップを行い（2020年2月）、

それぞれ谷に「ある」ものを言葉で書き出してみたものをまとめた小冊子が発行されました。



②8 3.11から10年企画

2021年3月11日で**東日本大震災から10年**

広報課からの呼びかけで、発災当初から活動していた2人にヒアリングし、**当時の想いや、10年経った今思うことなどを、大学WEBマガジンに掲載**してもらうことになりました。

府大全体としても、この10年間、災害復興支援や地域防災啓発の活動に継続して取り組んできたので、その**歩みを振り返る機会**にもしました。

公開取材形式で様々な人が観覧できるようにしたことにより、多数の卒業生が当日参加し、**当時の思いを改めて分かち合う場**をつくることができました。



②9 国際チーム 活動中

国際協力分野に関する連携先
(NGO等) が少ないV-station。

このテーマに関心のある学生
スタッフによりチームを組み、自
分たち自身が国際理解を深めな
がら連携先を開拓中。

現在、関西の老舗NGO「公益社
団法人アジア協会アジア友の
会」との連携を計画中。

今後、学生の国際協力に対する
関心を高めていけるような啓発
機会をつくっていく予定。



2期～3期：8月～12月

③0他大学とのオンライン交流

コロナ禍における活動については、他大学のV C等も頭を悩ませている。
オンラインを活用することで遠方の学生とも気軽に情報交換を図ることができる。

8月30日：横浜市立大学 ボランティア支援室

9月26日：静岡県立大学 学生ボランティアセンター

9月26日, 27日：LINKtopos（全国公立大学学生大会）

12月13日：同志社大学 ボランティア支援室ARCO

全国の公立大学生が一堂に集う大会「LINKtopos」
今年度は感染対策のため、会場校の岡山県立大学と
参加大学を繋ぐオンライン開催となった。

今年のテーマは「水害と避難所」

参加校は事前に、団体紹介動画を作成することになり
V-stationも約10分間の動画を作成した。

その中で、V-stationのコロナ禍での活動報告した。



参加希望、質問等は下部のSNSまたはメールでお気軽にお問い合わせください。

全国の学生と繋がられます。

LINKtopos 2020 テーマ 再考

LINKtoposとは
災害支援・防災に留まらず、地域活動を行っている学生らが全国から集まり、ワークショップ等を通じて研鑽・交流、また各地域における学生間交流を行っています。

大会概要
岡山の水害をはじめとする災害と、新型コロナウイルスの状況を受けて、避難所運営を含め、災害時の対応について、公立大学生として何ができるのか考えます。

オンライン開催
今年は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、全工程をオンラインで実施します。そのため、自身が通っている各大学に集まり、参加していただくこととなります。

2020.09.26 (SAT) ~ 09.27 (SUN)

SNSで情報発信中！「LINKtopos」で検索！

発信元：岡山県立大学
会場：各大学

Email: linktopos@gmail.com

主催：公立大学学生ネットワーク 共催：一般社団法人公立大学協会

③1 市民活動パネル展



堺市の市民活動についての啓発活動の一環であるパネル展。昨年度に続き府大においても11月に2週間、学生会館1階で展示を行いました。

また、2020年度の新たな取り組みとして、**V-station**による**取り組みを特集したパネル展**が、地元区役所である中区において実現。



来年度以降、**ネットワーク加盟大学と地元区役所とのマッチング**を促進する計画。

(予定) 2021年4月～

堺市委託事業

「市民活動に係る大学間ネットワーク構築推進等業務」

③② オンラインボランティアセンター構想

堺市近隣の8大学（府大含む）で市民活動に係るネットワークづくり



<https://www.sakai-sdc.jp/>

各大学の学生にボランティア参加を呼びかけるツールとしてWEBサイト「さかいソーシャルデザインセンター」を2021年4月より運用開始。

大阪・堺市やその近隣大学が共同で立ち上げる「さかい大学市民活動ネットワーク準備会」（事務局：大阪府立大学）が運営する学生の市民活動をサポートするオンラインセンターであり、ボランティア活動に関する相談受付やオリジナルプログラムの開催等、多彩な支援活動を実施していきます。

(参考) さかい大学市民活動ネットワーク準備会

